



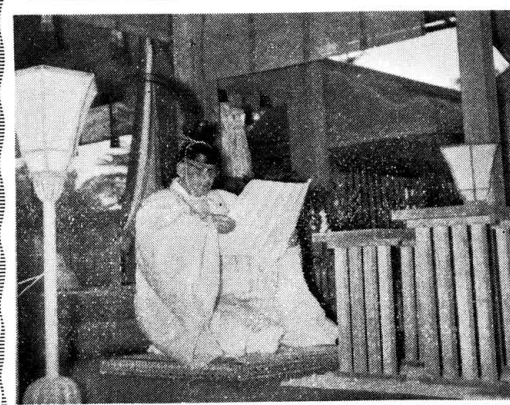
毎月一日発行 定価一年送料共250円 発行所 宗像大社社務本局

宗像大社御用達 松島神輿製作所 京都府下京区北小路通新町西入

宗像大社 春季大祭斎行さる

毎年の例によつて今年も四月一日から三日迄の間に、宗像大社の春季大祭が斎行された。昔から俗に「保存会」といわれて親しまれて来たのである。

十一時より神輿行事として、門前校区対抗一般個人、一般少年の部の奉納剣道大会が御境内西庭で賑やかに行なわれた。



写真は氏子会奉幣祝詞を奏上する吉武儀市郎氏



写真は浦安舞



写真は奉納剣道大会

御礼 当社の春季大祭にあたりましては種々御高配を賜り、誠に有難く厚く御礼申し上げます

阿蒙少言 江古の街を歩くと、雪は難々男子一期の懸顔のない赤黒顔の足跡は、軽くない、重くない、所詮は、まどろみの味

田島の総代さん 志賀海神社に参拝 春雨のむら四月二十五日、田島の総代さん方が家族を同伴して粕屋部の志賀前に鎮座せられる志賀海神社に参拝した。

論説 交通事故と神に祈るころ

わが国の憲法は、世界に類例のものがない。その狭い道幅、自動車が多すぎると事故多発の主因である。ま、運転者の待遇の問題

重松栄生 宗像警察署長 朝起きたら敬ましい気持ちで今日 日常の心掛けが悪いといくらを安全を祈りし、感謝のころをもち、運転に専心してもらいた

- 宗像警察署長 重松栄生 朝起きたら敬ましい気持ちで今日 日常の心掛けが悪いといくらを安全を祈りし、感謝のころをもち、運転に専心してもらいた







物産の重んじ 人育の重んじ 先生佐

(前号に) (一) それから日本の投人 運送といふものは...

青年には気の毒である。日本青年に 対する期待

人間の矛盾性を 克服する道

テロについての 所感

随筆 釣 友 達

民話 「お夏大明神」 花田 作生

現代に生きる 正助さん

宗像 徳集 (二) 日本一の親孝行者 武丸の正助さん



写真は「お夏大明神」の攝景を 押さした

私は釣りに誘はれない男で 自分もどうしてこんな釣魚が...

ところが、釣りに誘はれない男で、自分もどうしてこんな釣魚が好きなかわからない...

今からおよそ七十五年前の天明三年、津島山が大騒動した...

だが、その津島山騒動とその事柄が、一身を犠牲にした義侠を以て年貢免除の連立が出た...

来り旧友であった。そして本来の訪問の主旨は...

「お夏大明神」といふのは、お夏大明神の御祭りに...

「武丸の正助さん」といふのは、少いながらも知られている...

宗像 徳集 (二) 日本一の親孝行者 武丸の正助さん

つまずき正助さんは江戸時代には、日本一の「親孝行者」といふ事になるわけだ...

「武丸の正助さん」といふのは、少いながらも知られている...

宗像 徳集 (二) 日本一の親孝行者 武丸の正助さん

つまずき正助さんは江戸時代には、日本一の「親孝行者」といふ事になるわけだ...

「武丸の正助さん」といふのは、少いながらも知られている...

宗像 徳集 (二) 日本一の親孝行者 武丸の正助さん

つまずき正助さんは江戸時代には、日本一の「親孝行者」といふ事になるわけだ...

「武丸の正助さん」といふのは、少いながらも知られている...

宗像 徳集 (二) 日本一の親孝行者 武丸の正助さん

つまずき正助さんは江戸時代には、日本一の「親孝行者」といふ事になるわけだ...

「武丸の正助さん」といふのは、少いながらも知られている...

宗像 徳集 (二) 日本一の親孝行者 武丸の正助さん

つまずき正助さんは江戸時代には、日本一の「親孝行者」といふ事になるわけだ...

「武丸の正助さん」といふのは、少いながらも知られている...

宗像 徳集 (二) 日本一の親孝行者 武丸の正助さん

つまずき正助さんは江戸時代には、日本一の「親孝行者」といふ事になるわけだ...

「武丸の正助さん」といふのは、少いながらも知られている...

宗像 徳集 (二) 日本一の親孝行者 武丸の正助さん

宗像 徳集 (二) 日本一の親孝行者 武丸の正助さん